

## 履修モデル

学位取得に向けて研究するために、研究課題に即した適切な授業科目を選択しなければならない。そのため、以下の履修モデルを参考に研究課題に即したオリジナルな履修計画を立てることとなる。

|   |             |   |  |   |
|---|-------------|---|--|---|
| 情報<br>コミュニケーション<br>専修                         | 研究題目        | メディアの社会的影響に関する研究—マスメディアとインターネットの比較を通して  |  |   |
|   | 養成する具体的な人材像 | IT社会における各種メディアの作用について実証的な事例を通して、理解し、分析し、応用できる人材の養成  |  |   |
|   | 研究内容        | 現代社会はメディアの多様化が著しく進展した社会である。実際、人々は日常的に新聞やテレビという既存の各種マスメディアと接することによって、さまざまな情報を入手するとともに、インターネットからも多様な情報を入手しつつ、自己の意思決定に役立てている。これら各種メディアの社会的影響を実証的に考察するためには、第1に、それぞれのメディアが有している固有の機能や作用の基本的な理解が必要となる。その基本的な理解を踏まえて、第2に、個々のユーザーの観点から、メディア利用の類型化を行い、利用類型ごとの分析が必要となる。言い換えれば、新聞を熱心に読むユーザーと、テレビを頻繁に見るユーザー、そして、今日のインターネットの利用が多いユーザー、それぞれのケースの実証的な分析が必要になる。さらに、第1、第2の考察の上に、第3に、メディア・パフォーマンスの観点からのアプローチも欠かすことはできない。本研究は、以上の3つの観点から総合的に研究を進め、現代社会の構造的特質へのより深い理解を目指すものである。 |  |   |
|   | 指導教員        | 小谷 敏教授 研究計画、全般的指導、社会情報論的観点からの研究指導<br>干川剛史教授 情報社会論的観点からの指導   |  |   |
|   | 履修科目        | 1年次   |  | 2年次   |
|   |             | (基礎科目)<br>Developing Critical Thinking Skills (1単位)<br>Critical Reading and Writing (1単位)<br>(基礎理論分野)<br>メディア研究基礎論 (2単位)<br>コミュニケーション研究基礎論 (2単位)<br>情報社会及び情報倫理特論 (2単位)<br>社会情報の歴史 (2単位)   |  | (社会・経済と情報分野)<br>日本経済情報特論 (2単位)<br>放送・通信特論 (2単位)<br>人工知能論 (2単位)<br>情報システム論 (2単位) |
| (研究指導) 現代社会研究特別演習Ⅰ (2単位)<br>現代社会研究特別研究Ⅰ (4単位) |             | (研究指導) 現代社会研究特別演習Ⅱ (2単位)<br>現代社会研究特別研究Ⅱ (4単位)   |  |   |
| 必修4科目12単位、選択10科目18単位、合計14科目30単位履修             |             |   |  |   |
| 臨床<br>社会学<br>専修                               | 研究題目        | がん患者の就労支援における事業場と医療機関の連携に関する研究  |  |   |
|   | 養成する具体的な人材像 | ソーシャルワークと社会調査の技能を持ち、現代社会の諸問題を分析し、実証的な事例を通して、理解、分析、応用できる人材の養成  |  |   |
|   | 研究内容        | がんは治療形態の変化や医学の進歩から、罹患しても働き続けられる時代が到来しており、職場への復帰や復職定着が可能となってきた。しかし、患者・労働者が職場へ復職するための事業場と医療機関の連携は未だ事例を重ね始めた途上である。また、制度・政策、社会資源の構築は進展をみせているものの、実際の支援方法の検証は少ない。本研究では、事業場を対象とした就労支援に関する調査や実際にがん罹患した従業員をもつ事業場の比率や現場のニーズを掘り、がん患者の就労支援に関する社会連携の課題を明らかにする。   |  |   |
|   | 指導教員        | 丹野真紀子教授 全般的指導、研究テーマの選定、研究計画、研究方法、定性的調査の指導、ソーシャルワーク理論の研究指導、研究発表、修士論文の作成の指導<br>尾久裕紀教授 医学及び産業保健に関わる研究指導  |  |   |
|   | 履修科目        | 1年次   |  | 2年次   |
|   |             | 〈ジェンダー臨床分野〉<br>ジェンダーの社会学 (2単位)<br>ジェンダーと家族 (2単位)<br>ジェンダーと医療 (2単位)<br>ジェンダーと自立支援 (2単位)<br>ジェンダー特論 (2単位)   |  | 〈福祉臨床分野〉<br>ソーシャルワーク特論 (2単位)<br>〈現代社会分析分野〉<br>調査研究方法 (2単位)<br>多変量解析 (2単位)       |
| 〈現代社会分析分野〉<br>質的調査法 (2単位)                     |             | (研究指導) 現代社会研究特別演習Ⅰ (2単位)<br>現代社会研究特別研究Ⅰ (4単位)   |  |   |
| 必修4科目12単位、選択9科目18単位、合計13科目30単位履修              |             |   |  |   |